

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公開番号】特開2008-4003(P2008-4003A)

【公開日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-001

【出願番号】特願2006-175262(P2006-175262)

【国際特許分類】

G 06 T 1/00 (2006.01)

A 61 B 5/117 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

【F I】

G 06 T 1/00 400 H

A 61 B 5/10 320 B

H 04 N 5/225 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月20日(2009.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被撮影者の顔画像を撮影する顔撮影装置において、

被撮影者の顔画像を撮影する撮影手段と、

前記撮影手段の前方の最も明るい光の方向を検出する光方向検出手段と、

前記光方向検出手段によって検出された前記光の方向の前記被撮影者の顔画像を前記撮影手段が撮影するように制御する制御手段と

を備えることを特徴とする顔撮影装置。

【請求項2】

前記撮影手段は、

旋回機構を有し、

前記制御手段は、

前記旋回機構を制御して、前記光方向検出手段で検出された前記光の方向へ前記撮影手段を向けることを特徴とする請求項1に記載の顔撮影装置。

【請求項3】

前記撮影手段は、

広角カメラであることを特徴とする請求項1に記載の顔撮影装置。

【請求項4】

前記光方向検出手段によって検出された前記光の方向に基づいて前記被撮影者を当該光の方向に立つように案内する案内手段

をさらに備えることを特徴とする請求項1に記載の顔撮影装置。

【請求項5】

前記被撮影者が立った方向を検出する立ち方向検出手段

をさらに備え、

前記制御手段は、

前記光方向検出手段で検出された前記光の方向と前記立ち方向検出手段で検出された前

記被撮影者が立った方向とが略一致した場合に、前記被撮影者の顔画像を前記撮影手段が撮影するように制御することを特徴とする請求項1に記載の顔撮影装置。

【請求項6】

請求項1に記載の前記顔撮影装置を有し、前記撮影手段によって撮影された前記被撮影者の顔画像と予め記憶された顔画像とを照合して本人認証を行う顔照合装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】顔撮影装置および顔照合装置